

(懷風藻) 從三位中納言丹墀真人廣成三首

五言遊吉野山

山水隨臨賞巖谿逐望新、朝看度峯翼夕翫躍潭鱗放曠多幽趣、超然少俗塵、栖心佳野域尋問美稻津、

七言吉野之作

葛城山

高嶺嵯峨多奇勢、長河渺漫作廻流、鐘地超潭豈凡類、美稻逢仙同洛洲、  
〔伊呂波字類抄加國郡〕葛木カツラキ<sub>上郡、七高山之一也</sub>

〔蓮步色葉集多タカキ〕葛城山王吉野

〔書言字考節用集乾坤〕葛城山

和州、今按、蟠根葛上  
下忍海三郡者

○金剛山ガウセン<sub>和州葛郡</sub>

〔和漢三才圖會大和三葛上郡〕

大和

三

葛上郡

金剛山 在和州河州界略中 相傳曰、當山與金峯山同、金山而金剛砂亦出於此、凡生當山藥品皆佳、  
〔和州巡覽記〕葛城山 簇峯の南にあり、簇峯より猶高き大山也、是金剛山也、山上に葛城の神社有、  
山上より一町西の方に、金剛山の寺あり、轉法輪寺と云、六坊有、山上は大和なり、寺は河内に屬せり、婦人は此山に上る事をゆるさず、大和の方のふもとより一里有、河内の方のふもと水分の社より六十六町あり、或説に、日本四番の高山なりと云、此山に登れば、大和、河内、攝津、其外諸國眼下に見ゆ、

〔源氏物語柏木三十六〕 よひのまぎれに、かしこに參りぬ、おとゞはかしこきをこなひ人、かづらき山よ  
りさうじ出たる待うけ給て、加持參らせんとし給、御修法讀經なども、いとおどろおどろしうさ  
わぎたり、

〔書言字考節用集一乾坤〕 生駒山コマヤマ<sub>和州平群郡</sub>

〔和漢三才圖會大和二〕 平群郡

生駒山